

# 通信SORA

住宅工房SORAとお客様を結ぶコミュニケーション情報誌

2006 12月号

## 社長のひとりごと

せっかく家を新築しても物が片付いていないため、家の中がいつも散らかっています。どうしてこうなるのか考えてみました。必要があって使ったものを片付けずにそのままにする。頻繁に使用するので、出しっ放しにする。仕舞った場所を忘れてしまうため、見えるところに出しておく。散らかっているという程度の差はあると思いますが、大体こんなことが理由のような気がします。確かに良く使うものは出しておいたほうが便利です。

うちのキッチン是对面のフルオープンですが、設計段階で、手元が隠れるくらいカウンターを高くしたほうが良いとアドバイスしていました。しかし、隠せばかえって乱雑になってしまうので、フルオープンが良いというのです。キッチン周りは口出ししないと決めていて、確かにそれも一理あると思いそのままにしました。しかし、いざ生活し始めると案の定、炊飯器、電子レンジ、トースター、ポットなどがリビング側から丸見えです。おまけにシンク周りには、食器の水切りカゴや洗剤などが置いてあり、いつも雑然としています。どうしたものかといろいろ考えましたが、結論として、隠すことを諦めました。今年2月に開催した「家具&キッチン講座」の中で、見せる収納について教えていただきました。出しっぱなしの物をスッキリ見せるには、**素材(ステンレス等)、形、色等を統一すること**だそうです。確かに同じ色、形、素材のものを整然と並べれば片付いて見えます。いいデザインの家電製品は少ないですが、色だけでも統一すれば、見え方が断然良くなると思います。同じものを置く場合でも、ちょっとしたことで見え方が違ってきます。いつも「**見え方**」を意識して物を置くよう心掛けていけば、整理整頓につながるような気がしています。

代表取締役 田中 昭弘

## 大盛況のジャズコンサート

先日のコンサートは大盛況でした。雨の中ご来場いただいたお客様、本当にありがとうございました。また、ブルースさん、カートさん、すばらしい演奏をありがとうございました。会場は約60人の観客の熱気でムンムンでした。

日本の伝統楽器を外国の方に教えていただくというのは、ちょっと妙な気分ですが、現代の多くの日本人にとっては、箏と尺八は身近な楽器ではないのかもしれない。



楽曲によっては、優雅で柔らかな音色から、エキサイティングで激しいリズムまで表現し、新たな可能性を感じました。一瞬、尺八がフルートやオカリナのような音色に聞こえたり、箏がハーブやベースギターに聞こえたりと、いろいろ新しい発見があったと思います。

来年は「桜前線追っかけ演奏ツアー」を予定しているそうです。皆さんの町でも演奏するかもしれませんよ!

## スタッフ紹介

11月から現場管理担当として入社しました。物静かな努力家で、コツコツ勉強して二級建築士を取得しました。将来は営業、設計、施工管理と業務全般にわたって活躍してほしいと願っています。よろしくお祈り致します。



### 【自己紹介】

はじめまして、11月1日付で入社しました**杉 貴秀**と申します。約15年間大工をやっていました。今までの経験を活かして、より良い住宅を提供するため努力してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

プロフィール

・昭和50年生まれ ・機械物が好きです。

## アンテナショップ in 相馬

ギャラリーSORAでは、毎月1回のペースでイベントを開催してきました。しかし、「ギャラリーは遠くてなかなか行けない、近くでもイベントをやってほしい。」という声もあり、来年は新たな試みとして、都市部での出張イベントを考えています。

そんな中、相馬駅前振興ビルでの、アンテナショップ出店のお誘いがありました。約3坪弱のスペースを間借りして、半年から1年間の予定で出店させていただくことにしました。好評のときは、改装して延長させていただく予定です。

出店内容は現在プランニング中で、年末に現在のテナントが出てからセッティングします。住宅工房SORAの家づくりのテイストが、その空間で表現できればいいと思っています。また、そこには小泉誠の小物や家具を配置し、販売もする予定です。

気軽に入って寛げる空間で、コーヒーを飲んだり、お話したり、打ち合わせに使ったりしていただければいいと思っています。限られた空間ですが、どんなものになるかわくわくしています。

来年の初売りには完成していると思いますので、ぜひお越し下さい。お楽しみに!



協力：エタルニテ(<http://www.inouekeika.jp/>)

## お掃除お手入れ教室開催しました。

10月29日(日) お掃除お手入れ教室を開催しました。ダスキンのサービスマスターが、実際に掃除をしながらプロのノウハウを教えてくださいました。

まず、普段なかなか手をつけない換気扇のドラムをはずしました。パケツにお湯で洗剤液をつくり、ドラムを20~30分つけ置きして洗い流します。お湯は熱い方が効果的で、3・4ヶ月に一度の頻度で手入れをするのが理想だそうです。汚れが溜まれば溜まるほど落とすのに時間がかかり、塗装してあるものは油汚れが塗装と同化して塗装が剥れてしまうそうです。

シンクは、クリームクレンザーより粒子が細かいダスキンのスチールウールで磨きました。このとき、ステンレスの目地にそって磨くのがコツで、円を書くようにしてはかえってキズがついてしまうそうです。仕上げは、アルコールを吹き付けて乾いた布でふきあげると、シンクも蛇口もピカピカになりました。アルコールは蒸発するため拭き残しも無く、同時に除菌にもなるので、手軽に使える優れものです。



次にガラス磨きは、雑巾で拭く場合は二度拭きを、ワイパーを使う場合は、水平ではなく斜めにして水を切ると汚れが残らないようです。更に、人の目は、横の線がまっすぐであればたとえ汚れていても気にならないという心理効果の説明を聞いたときは、大学の講義でも受けているようでした。

最後に、お風呂のタイル目地についてのピンク色をどうやって落とすかです。これは水垢ではなくかびだと聞いてビックリしました。放っておくと黒や緑のがんこなかびになってしまうので、ピンクのうちにかびとり剤で落とします。

お掃除は、はじめるまでがユーウツで、取りかかると夢中になってしまい、きれいになるとうれしいし、満足感もあります。今回参加された方たちは、「早速、やってみよう!」と、美くなる自分の家を思い描いたこと

by K.T.

講師：羽根田 聡  
協力：(株)ダスキン福島

